

教職支援
センター

NEWS

つなぐ

第5号

令和7年5月発行
高崎健康福祉大学
教職支援センター

チームとなって夢をつかめ!!

～高崎健大教職支援センターはチーム力で学生の夢を叶えます～

教職支援
センター長
栗原 幸正

高崎健康福祉大学教職支援センターは、教育職・保育職を目指す学生たちの夢を叶えるためにセンタースタッフと学生がチームになって就職活動に臨んでいます。

センタースタッフは、スタッフ一人一人がこれまで紡いできた実績を元に、自らの専門性が最大限に発揮できるよう緻密に協働して学生の支援に臨みます。そして、夢の職種への就職を目指す学生たちもまた、チームとして筆記試験や多様な面接、集団討議・場面指導・模擬授業に真摯に取り組み、一人の努力では達成できない

域まで自らを高めていきました。その結果、令和6年度は、学生たちは培ったチーム力を発揮して、教員採用試験では84.4%の合格率を獲得し、公立保育園や行政等に13名が就職するという成果を生み出しています。これは、チームの力が、一人の努力を超える事が出来るという事の証だと考えます。

この成果を、昨年同様に次年度以降の学生たちに「つなぐ」ことを目指して、教職支援センターのスタッフ一同、質の高い支援を繰り広げて参りたいと思います。

めざせ希望の就職先!! 緻密なリサーチ・卓越した行動力

教諭

群馬県公立小学校
中村 彩楽さん



私は教師になる夢を叶えるために、勉学に励むだけでなく、様々なボランティアに積極的に参加し経験を積んできました。しかし、私は初めからボランティアに積極的に参加できていた訳ではなく、行動することが苦手な方でした。しかし、友達や先輩からの誘いに応じたり、興味がある活動をしつづけていくうちに、少しずつ様々なことに挑戦できるようになっていきました。フリースクールや特別支援学校、学習支援など、様々なボランティアの経験もあり、教員採用試験にも活かすことができました。また、試験のために、教職支援センターの先生方や先輩に積極的に質問や相談をしました。先生方は、いつも親身になって対応してくださり、安心して様々なことに挑戦することができ、合格を掴み取ることができました。

在学中に得た学びを活かしながら、様々なことに挑戦し、学び続ける教員になりたいと思っています。行動を起こすことは簡単なことではないかもしれませんが、思い切って一歩を踏み出して色んなことに挑戦してみてください。応援しています。

保育士

埼玉県児童相談所
沖杉 采香さん



私は幼い頃から県職員として県全体を支援できるような保育士になりたいと考えていたため、2年生ごろから定期的に県や市町村のホームページを閲覧し、情報を集めるよう心がけていました。私にとって埼玉県は縁もゆかりもない場所だったため、県を知るためにはまずそれぞれの市を知ることが重要だと考え、埼玉県に属している市の公務員試験も3箇所受けました。自ら様々な市の子育て支援センターや公立保育園、商業施設、公園などを見学し、良さや魅力を面接で自信を持って語れるように行動しました。その結果、面接では実際に足を運んだ努力を高く評価していただくことができました。

初めての就職活動で不安も多くありましたが、教職支援センターの先生方のご指導のもとやり遂げることができました。自分自身が思い描く将来像を強く持ち、行動することで夢は叶います。皆さんも教職支援センターを活用し、後悔のないよう挑戦してみてください。心より応援しています。

小学校、中学校…、
幼稚園、保育園…、
進路に悩みを持つ
学生に優しく丁寧に
寄り添います!

教職支援センター

学生を応援します

本センターは、文部科学省が推進する教職課程の自己点検・評価実施のための事務局として、教職課程の質の向上に取り組んでいます。

教員免許状一括申請・保育士登録関連事業

卒業年次生の便宜を図るため、各学生からの申込書類を一括して関係機関に申請する業務を行っています。そのため教員免許状については、学位記授与式当日に受け取ることができます!

採用試験対策講座&模試の計画・実施

教職指導主事による採用試験に向けた対策講座を毎週実施しています。また外部業者と連携したオンデマンド動画配信も実施し、各自のスケジュールに合わせた試験対策ができるよう支援しています。

進路相談・各種面談の実施

進路の悩みや学習の相談はもちろん、論作文や書類の書き方、面接指導などきめ細やかに対応します。

教職履修カルテに関する先進的な取り組み

教職課程に必須とされる履修カルテについては、他大学ではあまり例のない独自のクラウドシステムを活用し、学生や教員の利便性向上と情報の一括管理を図るなど、先進的な取り組みを行っています!

各種有償ボランティア窓口事業

高崎市内の小・中学校を中心に、子どもたちの支援を目的とした各種有償教育ボランティアの紹介・斡旋を行っています。参加した学生は、子どもたちとのふれあいを通して教育職・保育職に対する自らの資質を高めています!

先輩と語る会



採用試験に向けた 個人指導・面接



学年ごとの対策講座



教職支援センター 令和7年度スタッフ紹介



センター長	栗原 幸正
副センター長	三村 国宏
専属教員	北村 陽
教職指導主事	伴内 弘美・平林 茂 三村 国宏 角田 映子
教職支援員	後藤 章・中村 秀樹
専任事務職員	針谷 和穂子

教職支援センター案内図

教職支援センターは9号館の1階にあります。





教育職・保育職で働きたい!



夢を実現させた! 卒業生からのメッセージ

Message from Graduates



保育士

埼玉県神川町立保育所
戸島 菜月さん
(令和6年度卒)



私が、保育士を志したのは、高校3年生の時でした。自分のやりたいことが中々見つからない中で、「子どもが好き」という理由で保育を学ぼうと決めました。実際に大学に入学し、保育を学んでみると、自分が思っていた何倍も奥が深く、子どもたちと関わりながら発達を支えていける職業に、さらに魅力を感じました。

そして、保育士になることを決めた私は、公立園への就職を検討しました。公立園への就職は、試験もあり大変なイメージが大きいと思いますが、一緒に挑戦する友達や教職支援センターの先生方が支えてくれます。私も、苦手だった作文に自信を持って取り組めるようになりました。

皆さんも、なりたい自分に向かって沢山挑戦してほしいです。応援しています。

一般事務

埼玉県上里町役場
宮倉 知花さん
(令和6年度卒)



私が行政という道を選んだのは、教職支援センターが行っている「先輩と語る会」という、4年生の採用試験対策を聞く会がきっかけでした。それまでの私は、多様な選択肢の中で進路を決めかねていましたが、市役所に合格となった先輩の話をきっかけに上里町役場のインターンシップに参加し、進路を決めることができました。

進路決定をしてからは試験対策にネガティブになる時もありました。その際には教職支援センターの先生方が話を聞いてくださり、それが大きなモチベーションとなりました。最終合格が出た時には努力が報われたと感じ、先生方と喜び合い非常に嬉しかったです。

今後は、私が学んだ専門性を強みに、町職員として笑顔で動んでいきたいと思っています。みなさん一人ひとりの夢を応援しています。

養護教諭

福島県公立小学校
笹川 修子さん
(令和6年度卒)



私は高校時代から養護教諭になりたいと思い、養護教諭課程を選択しました。看護の授業との両立は困難を感じることもありましたが、先生方に支えていただき、仲間と共に励まし合うことで乗り越えることができました。

教員採用試験の際には養護教諭課程の先生方、教職支援センターの先生方に沢山支えていただきました。特に教職支援センターでは面接練習や小論文の添削、今後に関する相談など多岐にわたるご指導やアドバイスをいただきました。手厚いサポート体制は私の力となり試験に自信をもって臨むことができました。

先生方や仲間を支えられたことへの感謝を忘れず、自己研鑽を続けていきたいと思っています。子どもの小さな変化に気づき、一人一人に寄り添うことのできる養護教諭になれるよう頑張ります。

管理栄養士

群馬県高崎市
公立小学校
樋口 友来さん
(令和6年度卒)



私が高崎市の管理栄養士を受ける意思を固めたのは、4年生の7月頃でした。地域の様々な方たちと関わり、子どもの給食にも携わりたいという思いから、自校式の給食があり、慣れ親しんだ群馬県の高崎市の受験をすと決めました。一次試験まで数か月という中で、必死に勉強をしました。二次試験、三次試験の面接対策では教職支援センターの多くの先生方にご指導いただき、毎日前向きに取り組むことができました。練習を重ねることに自信をもてるようになり、自分の思いをまっすぐに、そして簡潔に伝えられるようになりました。

今後は、自分もつ専門的な栄養の知識を生かし、多くの人と関わり、地域の方々との健康増進につながるよう努力したいです。

保育士

群馬県高崎市公立保育所
長谷川 美桜さん
(令和6年度卒)



私は初め、私立の保育所を志望していました。しかし、難しいことにも挑戦してみたいという思いから、「だめでもいいから挑戦してみよう」という気持ちで公立保育所を目指すことを決めました。

試験を受けている間は、焦りや不安などの様々な感情から、心が折れそうになったことも多々ありました。しかし、そんな時に、教職支援センターの先生方が話を聞いてくださったり、何度も励ましてくださったりしたことが心の支えになりました。先生方の手厚い指導やサポートがなければ、合格することはできなかったと思っています。今後は、自分らしさを忘れず、子どもと一緒に成長していける保育者を目指していきたいです。皆さんもぜひ、教職支援センターを活用しながら頑張ってください。応援しています！

教諭

埼玉県立特別支援学校
柿本 理恵さん
(令和6年度卒)



私は、障害のある子どもの支援や自立に携わる職業に就きたいという思いから特別支援学校の教師を志しました。

採用試験を受けるにあたり、教職支援センターには大変お世話になりました。一次試験の際、ポイントを絞って対策講座をして下さったり、演習の時間を多く設けていただいたりしたことが効果的に学習を進めることにつながりました。また、支援センターには様々な都道府県の過去問が常備してあったため志望自治体以外の問題にも気兼ねなく取り組むことができました。

今後は、一人ひとりの子どもたちが安心して過ごせる環境づくりや子どもの言葉を大切にしたり関わりを心掛けていきたいです。皆さんも間違えたり誰かに相談したりしながら、自分を信じチャレンジし続けてください。

教諭

群馬県公立小学校
(群馬県中学校英語合格)
星 裕貴さん
(令和6年度卒)



私は、子どもの頃から人と話すことが好きな性格でした。しかし、採用試験の面接練習を教職支援センターの先生方としてしていると、人と話すことと面接は全く別物であることに気付かされました。面接練習では、志望動機や長所や短所などの基本的な質問だけでなく、職務上の義務などの知識を問うような質問もありました。実際の教員採用試験では練習と同じ質問をされ、落ち着いて対応することができました。

教職支援センターの二次試験対策を通して、面接力が向上しただけでなく、相手に伝わりやすい話し方も身に付けることができました。これは今後の教員人生においても必須なスキルであり、対策講座で教職支援センターの先生方と磨くことができました。今後も日常の教育活動を通して、様々な資質・能力を高めていくよう学び続けていきます。

教諭

新潟県公立小学校
中村 颯汰さん
(令和6年度卒)



私は、幼い頃から教師になることが夢で、教員採用試験に臨みました。試験が近づくにつれ、不安な気持ちが大きくなってきました。そんな中、教職支援センターの先生方は前向きな言葉をかけてくれたり、アドバイスをしてくれたりしました。試験に向けて、願書をどのように書くのかを悩んだ際も、親身になって相談に乗ってくださり、私の教員になりたい思いを引き出してくれました。

勉強に行き詰まった時も、教職支援センターに向かい、おすすめの問題集を教えてもらったり、勉強方法について一緒に考えてもらったりしました。試験の最後の最後まで、応援して下さった先生方のお陰で、自信を持って教員採用試験に臨むことができました。私も一人一人の子どもたちが成長できるよう粘り強く支援する教師を目指します。

保育教諭

群馬県東吾妻町
公立認定こども園
原田 凜さん
(令和6年度卒)



私は、幼少期の思い出として、先生とたくさん遊び楽しい記憶がありました。先生の優しい姿に憧れ、将来子どもと関わる仕事に就くことが夢になりました。初めは、公立ではなくても子どもと関わることであればどこでもいと考えていましたが、教職支援センターの先生方や公立を目指す友達の影響や支えにより、自分も採用試験に挑戦してみようという気持ちを持つことができました。教職支援センターでは、作文の添削や面接練習など、多くのアドバイスをいただきました。先生方の熱心な指導と手厚いサポートのおかげで、本番も自信をもって試験に挑むことができました。

これからは、ここまで支えられたことへの感謝を忘れず、保育者として子ども理解や、子どもが安心安全にのびのび過ごせるようサポートしていけるよう頑張りたいです。

保育教諭

群馬県太田市
私立認定こども園
石井 真絢さん
(令和6年度卒)



私は中学生の頃から保育者になりたいと思っていました。大学で就職について考え始めた時に、自分が本当に働きたいと思うところに就職したいと思い、認定こども園や保育園、幼稚園が集まる合同就職説明会に参加したり、園見学をしたり、ボランティアを通して、決めました。教職支援センターの先生方には、就職試験の面接練習、履歴書添削など、たくさんお世話になりました。面接練習では、私の不安がなくなるまで何回も行っていただき、また励ましのお言葉もたくさんいただきました。

今後は、大学での学びを生かして、子どもの気持ちに寄り添い、子どもと共に成長していける保育者になれるように頑張りたいと思います。皆さんも教職支援センターを活用しながら、夢に向かって頑張ってください！